

教育研究業績 (H30/2018 年度まで 10 年間)

学部：芸術

学科：芸術

領域：芸術教養・音楽

氏 名	茶谷 薫	職 名	准教授
H30/2018 年度の 教育活動	[学部] 大学生になる, 大学生になる(再履修), 日本語表現, 日本語表現(再履修), (感覚の)生物学, (子育てとアートの)人類学, 環境・社会と科学(生態学), アートと数・図形(教養講座自然), 異文化体験(教養講座社会) [大学院] なし		
学 位	博士(理学)(京都大学)		
学 歴	平成 4 年 3 月 京都大学理学部 卒業 平成 4 年 4 月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 修士課程 入学 平成 6 年 3 月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 修士課程 修了 平成 6 年 4 月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 博士後期課程 進学 平成 7 年 6 月 京都大学大学院理学研究科動物学専攻 博士後期課程 退学		
職 歴	平成 7 年 7 月 大阪医科大学第一解剖学教室助手(平成 11 年 3 月まで) 平成 9 年 4 月 高槻市医師会看護専門高等学校非常勤講師(平成 11 年 3 月まで) 平成 9 年 9 月 大阪外国語大学(現・大阪大学箕面キャンパス)留学生日本語センター非常勤講師(平成 10 年 9 月まで) 平成 11 年 4 月 国士舘大学古代イラク文化研究所共同研究員(現在に至る) 平成 11 年 6 月 日本学術振興会特別研究員(平成 14 年 3 月まで) 平成 13 年 4 月 中京大学非常勤講師(平成 24 年 3 月まで) 平成 14 年 4 月 京都大学霊長類研究所非常勤研究員(平成 14 年 9 月まで) 平成 14 年 10 月 京都大学霊長類研究所教務補佐員(同月のみ) 平成 14 年 11 月 京都大学霊長類研究所非常勤研究員(平成 15 年 3 月まで) 平成 15 年 4 月 京都大学霊長類研究所教務補佐員(平成 19 年 3 月まで) 平成 15 年 4 月 名古屋商科大学非常勤講師(平成 18 年 3 月まで) 平成 16 年 4 月 名古屋芸術大学非常勤講師(平成 19 年 3 月まで) 平成 17 年 4 月 愛知県立高等看護専門学校非常勤講師(平成 25 年 3 月まで) 平成 17 年 9 月 椋山女学園大学非常勤講師(平成 19 年 3 月まで) 平成 19 年 4 月 名古屋芸術大学専任講師(平成 25 年 3 月まで) 平成 25 年 4 月 名古屋芸術大学准教授(現在に至る)		
専門分野	考現学・人類学、理科・数学教育、高大接続教育		
研究課題	1) 人々の日常生活・物品・言動についての考現学的研究 2) 大学等における教材開発: マンガ・児童文学・ヤングアダルト作品、考現学研究結果の活用 3) 大学生・社会人の数学・科学リテラシーの教材開発 4) 霊長類の運動		

<p>教育研究業績 H21-H30 年度</p>	<p>[著書・論文・学会発表]</p> <p>「調理実習の持つ意義—総合的学習、アクティブラーニング、学びの基礎を養うもの、そして生活指導上の指標を得るための調理実習実践報告」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要 8号 97-105頁(平成31年3月)</p> <p>「アクティブ・ラーニングとしての「異文化体験」:初年度授業報告」(単著)名古屋芸術大学研究紀要 40巻 117-128頁(平成31年3月)</p> <p>「調理実習を通じた食の文化と科学のアクティブラーニング—教材開発研究のための報告—」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第39巻 181~195頁(平成30年3月)</p> <p>「大学における算数・数学の振り返り授業報告」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第7号 pp27-38(平成30年3月)</p> <p>「「献血」の教材としての可能性—「総合的学習」における「献血」学習を通じ幅広い教養を身に付けるための提案」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第6号 pp53-64(平成29年9月)</p> <p>「名古屋芸術大学ゼミナール活動報告(2)」名古屋芸術大学人間発達研究所年報第5・6巻 合併号 15-25頁(平成29年3月)</p> <p>「総合的学習と教養教育を基盤とした地域の文化拠点形成に向けて」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第5号 73-80頁(平成29年3月)</p> <p>「保育内容の理解を深めるための育児体験マンガ活用 — 特に保育内容「環境」に関連して—」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第38巻 179~194頁(平成29年3月)</p> <p>「割合の理解に不足しているもの(事例報告)」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第3号 pp.25-37(平成28年3月)</p> <p>「柔軟な思考を阻むもの—特に科学教育のために」(単著)名古屋芸術大学研究紀要 第37巻 pp.231-239(平成28年3月)</p> <p>「人類学からみた「こども」という主題が芸術に投げかけるもの」芸術批評誌[リ]ア]vol35pp.15-18(平成27年9月)</p> <p>「Lifespan and Reproductive Senescence in a Free-Ranging Ring-Tailed Lemur (<i>Lemur catta</i>)」(共著)Folia Primatologica, vol.86, pp.134-139(平成27年5月)</p> <p>「名古屋芸術大学人間発達学部ゼミナール活動報告—授業改善のために—」(単著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報第4巻 pp.51-60(平成27年3月)</p> <p>「算数で躓いたところ — 大学生の苦手分野と小中学生時代の問題—(事例報告)」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第2号 pp.57-66(平成27年3月)</p> <p>「生活科・社会科における考現学的手法の活用—絵本『町のけんきゅう』の地域学習副読本利用—」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第36巻 pp.135-143(平成27年3月)</p> <p>「ワオキツネザルの前腕臭腺分析(II)」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第35巻 pp.179-184(平成26年3月)</p> <p>「普遍性を生み出すための個別的学习:名古屋芸術大学生生活科教育への教材提案—理解、社会、算数(数学)、国語、図工(美術)、音楽、体育、外国語活動との連携—」(単著)名古屋芸術大学教職センター紀要第1号 pp33-41(平成26年3月)</p> <p>「DECREASE IN THE BODY MASS OF WILD RINGTAILED LEMURS AT BERENTY RESERVE IN MADAGASCAR WITH ENVIRONMENTAL CHANGES」(共著)African Study Monographs 34(2), 109-118(平成25年8月)</p>
----------------------------------	---

- 「ワオキツネザルのアカンボウの剖検と死因の推定」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第 34 巻 pp.179-184(平成 25 年 3 月)
- 「視野を広げるための読書—名古屋芸術大学図書館所蔵本から」(単著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報 第 1 巻(創刊号)113-116 頁(平成 24 年 3 月)
- 「ワオキツネザル当歳児の顔面分析—ワオキツネザルの「赤ちゃんらしさ」とは?」(共著)名古屋芸術大学人間発達研究所年報第 1 巻(創刊号)61-67 頁(平成 24 年 3 月)
- 「ワオキツネザルの顔面特徴—サル用デジタルカメラ顔認識機能開発のための試み」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第 33 巻 189-196 頁(平成 24 年 3 月)
- 「ワオキツネザルの前腕臭腺分析」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第 32 巻 pp.241-249(平成 23 年 3 月)
- 「ワオキツネザルの尾の中身」(共著)名古屋芸術大学紀要第 31 巻 pp285-292(平成 22 年 3 月)
- 「軒下のじてん」(共著)軒下ミュージアム:わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書 : 2) pp52-54(平成 21 年 6 月)
- 「異物?」(単著)軒下ミュージアム:わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書 : 2) pp90-92(平成 21 年 6 月)
- 「室外機は語る」(単著)軒下ミュージアム:わたしと世界のあいだを観察する方法 (フィールド選書 : 2) pp15-23(平成 21 年 6 月)
- 「ウェブ時代の落書 ネット上の匿名掲示番に溢れる風刺画」(単著)名古屋芸術大学研究紀要第 30 巻 p.227-237(平成 21 年 3 月)
- 「有意味学習を考える —個性尊重の「総合的教育」へのアプローチから—」(共著)名古屋芸術大学研究紀要第 30 巻 p.81-96(平成 21 年 3 月)

[その他の発表]

- 「情報メディアの発達」野外活動研究会・夏の発表会・名古屋市短歌会館(平成 30 年 8 月 19 日)
- 「献血ルーム」野外活動研究会・夏の発表会・名古屋市短歌会館(平成 29 年 8 月 20 日)
- 「誘導的に観光地化する街」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 午後の部「軒下ミュージアム」 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 28 年 8 月 21 日)
- 「誘導的に観光地化する街」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 午前の部 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 28 年 8 月 21 日)
- 「名古屋駅●深掘り観察トーク 遠近から見た〈名古屋駅へ来る人〉の生態」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 27 年 8 月 23 日)
- 「北陸新幹線の被害」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 27 年 8 月 23 日)
- 「バリアの研究」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 26 年 8 月 24 日)
- 「バリアの要不要」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 25 年 8 月 18 日)
- 「後付けバリアフリー」夏休み〈まち歩きサロン〉発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 24 年 8 月 5 日)

「エネルギーの風俗」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 23 年 8 月 23 日)

「室外機の置き方」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市短歌会館(平成 22 年 8 月 20 日)

「室外機と景観」夏休みくまち歩きサロン>発表会 野外活動研究会・名古屋市女性会館(平成 21 年 8 月 22 日)

[その他の小文]

「能登の合併と恋路駅」(単著)野外活動研究会会報 vol.141 p.1348(平成 30 年 8 月)

「バリアが減って見えるように」(単著)野外活動研究会会報 vol.141 p.1346(平成 30 年 8 月)

「DOS からアップル・ウィンドウズへ」(単著)野外活動研究会会報 vol.141 p.1343(平成 30 年 8 月)

「平成の大合併で」(単著)野外活動研究会会報 vol.140 p.1338(平成 30 年 4 月)

「金沢駅のジェネリック化」(単著)野外活動研究会会報 vol.140 p.1336(平成 30 年 4 月)

「情報と通信の発達」(単著)野外活動研究会会報 vol.140 p.1331(平成 30 年 4 月)

「トイレの変化 : ライフスタイルから」(単著)野外活動研究会会報 vol.139 p.1321(平成 29 年 12 月)

「米原駅とその前」(単著)野外活動研究会会報 vol.139 p.1319(平成 29 年 12 月)

「通販の宅配サービスのハードル」(単著)野外活動研究会会報 vol.138, p.1309(平成 29 年 8 月)

「ドローンの光と影」(単著)野外活動研究会会報 vol.138, p.1308(平成 29 年 8 月)

「国有地へのハミダシ」(単著)野外活動研究会会報 vol.137, p.1299(平成 29 年 5 月)

「スマホにみるジェネレーションギャップ」(単著)野外活動研究会会報 vol.137, p.1295(平成 29 年 5 月)

「水を探す」(単著)野外活動研究会会報 vol.136, p.1286 平成 29 年 2 月)

「温暖化」と水害」(単著)野外活動研究会会報 vol.136, p.1284(平成 29 年 2 月)

「マスクのつくる境界」(単著)野外活動研究会会報 vol.135, p.1275(平成 28 年 9 月)

「物理的境界から社会的・文化的境界まで」(単著)野外活動研究会会報 vol.135, p.1272-73(平成 28 年 9 月)

「かつての線路と駅」(単著)野外活動研究会会報 vol.134, p.1265(平成 28 年 6 月)

「工場地帯の道」(単著)野外活動研究会会報 vol.134, p.1259(平成 28 年 6 月)

「平坦な中の「高さ」」(単著)野外活動研究会会報 vol.134, p.1260(平成 28 年 6 月)

「工場地帯の道」(単著)野外活動研究会会報 vol.134, p.1259(平成 28 年 6 月)

「ささしまライブ 24 界限」(単著)野外活動研究会会報 vol.133, p.1250(平成 28 年 2 月)

「道の変化 : ガード下」(単著)野外活動研究会会報 vol.133, p.1247(平成 28 年 2 月)

「畑に太陽光パネル」(単著)野外活動研究会会報 vol.132, p.1244(平成 27 年 8 月)

「盗電合法」(単著)野外活動研究会会報 vol.132, p.1239(平成 27 年 8 月)

「黒板の価値(板書減)」(単著)野外活動研究会会報 vol.132, p.1238(平成 27 年 8 月)

「五条川の橋工事その後」(単著)野外活動研究会会報 vol.131, p.1229(平成 27 年 5 月)

「駅前演説」(単著)野外活動研究会会報 vol.131, p.1224(平成 27 年 5 月)

「金沢・近江町市場の人々」(単著)野外活動研究会会報 vol.130, p.1211(平成 27 年 2 月)

「北陸新幹線開業直前の金沢」(単著)野外活動研究会会報 vol.130, p.1211(平成 27 年 2 月)

「定点観察備忘録」(単著)野外活動研究会会報 vol.129, p.1207-1208(平成 26 年 8 月)

「消費税増直後、近鉄の地下店舗」(単著)野外活動研究会会報 vol.129, p.1203(平成 26 年 8 月)

「JR春日井駅周辺の時間貸し駐車場」(単著)野外活動研究会会報 vol.128, p.1195(平成 26 年 4 月)

「広告物品に残された歴史」(単著)野外活動研究会会報 vol.128, p.1193(平成 26 年 4 月)

「電車も個室化? : 車内の人々-2」(単著)野外活動研究会会報 vol.128, p.1190(平成 26 年 4 月)

「電気の副産物」(単著)野外活動研究会会報 vol.127, p.1175(平成 26 年 2 月)

「SIM ロック解除」(単著)野外活動研究会会報 vol.127, p.1183(平成 26 年 2 月)

「電気がなくても電化製品」(単著)野外活動研究会会報 vol.127, p.1179(平成 26 年 2 月)

「電気の副産物」(単著)野外活動研究会会報 vol.127, p.1175(平成 26 年 2 月)

「小牧山にみるバリア」(単著)野外活動研究会会報 vol.126, p.1171(平成 25 年 11 月)

「バリアを考える」(単著)野外活動研究会会報 vol.126, p.1170(平成 25 年 11 月)

「人を待つヒトビト」(単著)野外活動研究会会報 vol.125, p.1157(平成 25 年 8 月)

「旧国鉄宿舎周辺」(単著)野外活動研究会会報 vol.125, p.1153(平成 25 年 8 月)

「繊維のマチのその後・一宮」(単著)野外活動研究会会報 vol.124, p.1147(平成 25 年 5 月)

「瀬戸の窯神社—今も生きている伝統」(単著)野外活動研究会会報 vol.124, p.1140(平成 25 年 5 月)

「ツクシをつむ人」(単著)野外活動研究会会報 vol.123, p.1136(平成 25 年 2 月)

「釣りをする人」(単著)野外活動研究会会報 vol.123, p.1135(平成 25 年 2 月)

「都市の害獣」(単著)野外活動研究会会報 vol.123, p.1128(平成 25 年 2 月)

「JR 岡崎駅の人々—名駅と比較して」(単著)野外活動研究会会報 vol.122, p.1115(平成 24 年 10 月)

「高床式犬小屋」(単著)野外活動研究会会報 vol.122, p.1120(平成 24 年 10 月)

「休日の名駅—時間帯による違い」(単著)野外活動研究会会報 vol.122, p.1117(平成 24 年 10 月)

「後付けバリアフリー」(単著)野外活動研究会会報 vol.122, p.1115(平成 24 年 10 月)

「生き物のエネルギーと機械のエネルギー」(単著)野外活動研究会会報 vol.121, p.1109(平成 24 年 7 月)

「電気のない暮らし」(単著)野外活動研究会会報 vol.121, p.1107(平成 24 年 7 月)

「陽よけ」(単著)野外活動研究会会報 vol.121, p.1106(平成 24 年 7 月)

「空気入り菓子の科学」(単著)野外活動研究会会報 vol.121, p.1104(平成 24 年 7 月)

「「ゴミ」はゴミ?」(単著)野外活動研究会会報 vol.121, p.1102(平成 24 年 7 月)

「中岡崎駅(ぶらす岡崎公園駅)」(単著)野外活動研究会会報 vol.120, p.1096(平成 24 年 4 月)

「JR 岡崎駅の人々一名駅と比較して」(単著) 野外活動研究会会報 vol.120, p.1094(平成 24 年 4 月)

「飼い犬の死」(単著) 野外活動研究会会報 vol.119, p.1082(平成 24 年 1 月)

「顔について 口元と髪の色」(単著) 野外活動研究会会報 vol.118, p.1063(平成 23 年 10 月)

「疑似科学的商品」(単著) 野外活動研究会会報 vol.117, p.1057(平成 23 年 7 月)

「車の中に残されたもの」(単著) 野外活動研究会会報 vol.117, p.1058(平成 23 年 7 月)

「築地口周辺」(単著) 野外活動研究会会報 vol.116, p.1047(平成 23 年 4 月)

「家」化する自動車」(単著) 野外活動研究会会報 vol.115, p.1039(平成 23 年 3 月)

「今は昔一減る新しさ」(単著) 野外活動研究会会報 vol.115 p.1033(平成 23 年 1 月)

「日よけの方法 一定点・量的調査」(単著) 野外活動研究会会報 vol.114 p.1027(平成 22 年 10 月)

「時代のなかで「カワイイ」って」(単著) 野外活動研究会会報 vol.113p.1014(平成 22 年 7 月)

「霜よけの方法と法則」(単著) 野外活動研究会会報 vol.112p.1000(平成 22 年 4 月)

「エコバック調査」(単著) 野外活動研究会会報 111 号 p.996(平成 22 年 1 月)

「新型インフルエンザ騒ぎ」(単著) 野外活動研究会会報 110 号 p.988(平成 21 年 10 月)

「橋の架け替え工事：鴨と車はどこへ? (定点観察 No.6)」(単著) 野外活動研究会会報 109 号 p.980(平成 21 年 6 月)

「生活研究と教養：1 (デザインへ No.32)」(単著) 野外活動研究会会報 109 号 p.978(平成 21 年 6 月)

[報告書など]

「数学的なりテラシーはどの程度備わっているかー大学の教育でみえてきた問題」(単著) 教養×Xリベラルアーツ総合研究所アニュアル 2017/18 48-49 頁(平成 30 年 3 月)

[その他の報告]

「名古屋芸術大学近況報告 芸術学部芸術学科芸術教養領域分」名古屋芸術大学・大学院後援会報 第 66 号 16-18 頁(平成 31 年 3 月)

「後援会補助公開講座実施報告 芸術教養領域分」名古屋芸術大学・大学院後援会報 第 66 号 27 頁(平成 31 年 3 月)

[演奏会・・展覧会・作品発表]

「碧南いろいろ詰め合わせ」碧南・日常観察展愛知県碧南市中町 2-16、カフェ・カノン(平成 28 年 8/3-9/4)

「マチのけんきゅう・かんさつ会」子供向けの豊橋市内の考現学的研究入門ワークショップ (平成 22 年 5 月 16 日)

「子供の連れ歩き方、カワイイ、車の中から・車の中で、動物園でヒトを見る」マチで見つけたモノと暮らし展 豊橋市こども未来館ニコニコ(平成 22 年 5/8-5/18)

「軒下の異物: 室外機、千年たってもカワイイ」境界なきアート展～響きあうココロへ～、豊川市桜ヶ丘ミュージアム(平成 21 年 11/20-12/19)

	<p>「軒下の異物:室外機 エアコン室外機の置き方、利用法は如何に?」「軒下はミュージアム: マチ歩き 暮らし発見」展、名古屋市東区、文化のみち榎木館・和室2(平成 21 年 9/15-9/23)</p> <p>「名古屋芸大生の「かわいい」もの』『名古屋芸術大学教員展』名古屋芸術大学アート&デザインセンター(平成 21 年 6/12-6/17)</p> <p>[講演]</p> <p>「人間の不思議～ことば・名前の謎と文化～」虎洞山龍臥院桂岩寺(平成 30 年 4 月 29 日)</p> <p>「リベラルアーツ文化講演会～幽霊、名前、学校、お金、…人間の不思議～」愛知県立津島北高校(平成 29 年 10 月 27 日)</p>
所属学会 団体等	野外活動研究会
社会的活動 H21-30 年度	<p>「熱田生涯学習センター23 年度後期講座「世界に一步踏み出そう II～夢と希望にあふれて」」名古屋市熱田生涯学習センター(平成 23 年 11 月 18 日)</p> <p>「子ども地域探検隊講座の指導」名古屋市西生涯学習センター 平成 22 年度 地域探検隊促進事業 学習プログラムの一環(平成 22 年 8/3,4,7)</p>
その他 H21-30 年度	<p>「NHK 名古屋パパママフェスティバル」早川・木村両先生と学生と共同作成した大判布絵と、下記のリニ祭実行委員ら作成の「お菓子の家」を NHK イベントで披露し読み聞かせをした。(平成 27 年 11/22)</p> <p>「リニモ沿線合同大学祭」上記の布絵(ヘンゼルとグレーテル)を、「入れる絵本」として展示した。(平成 27 年 11/14-15)</p> <p>ドン・ルイス氏コンサート、音楽イベント、本学助成研究「愛知県の東西交流と芸術的視点による博物館の再発見への挑戦」の、東條・菅嶋・早川各先生と共同、加藤多美子氏の尽力で開催(平成 27 年 2/11・豊橋市自然史博物館、2/12 人間発達学部春を呼ぶ芸術フェスティバル、2/14 北名古屋市立白木小学校、2/19 木祖セミナーハウス)</p> <p>「博物館ロビーコンサート」本学助成研究「愛知県の東西交流と芸術的視点による博物館の再発見への挑戦」の、東條・菅嶋・早川各先生と共同、(平成 26 年 12/21、12/23、平成 27 年 1/4)</p> <p>「アフリカの生き物「とても足の速いパタスモンキー」小学館監修百科シリーズ ジャポニカ学習帳 社会 10mm マス(平成 22 年から)</p> <p>「ダーウィンが来た 生き物新伝説 第 155 回 走れ! 跳べ! 世界最速モンキー」NHK 総合テレビ、BS1NHK 取材班に協力(平成 21 年 7 月)</p>